

令和6年度 いずみ野地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

【地域の現状】

・いずみ野地域ケアプラザはいずみ野駅に隣接し、駅前には商業施設や飲食店があり大変活気がある街となっています。クリニックも駅周辺には多くあり医療面でも恵まれた地域です。一方駅から離れると、買い物をするお店や病院が少なく、住宅街や農耕地が広がっています。高齢化は37%と高いですが、要介護認定率は17%と元気な高齢者が多いです。しかし、包括支援センターには認知症に関する相談が多くなっています。弥生台地区は、戸建てが多く、多世代で居住している方も多い地域です。いずみ野・弥生台共にエレベーターのない集合住宅が多くあることから、今後は高齢者の方々の、外出・通院・買い物といった移動や介護保険外の住民間での支え合いが必要となる地域です。

【今後の方向性】

- ・地域住民の方とともに、地域に必要な移動や外出支援、また、支えあいの仕組みづくりをさらに進めます。
- ・地域の中で認知症に対する理解が進み、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。
- ・地域住民が主体となって活躍できる多世代の方が集える居場所づくりに取り組みます。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ・何らかの理由で外出が出来なくなった高齢者への支援、「お出かけサポーター」の活動が拡がりを見せています。居場所支援である「お出かけカフェ」も令和6年度は完全自主化へと移行して更なる発展を目指します。活動の担い手にとって活動の場が増えているので、今後もケアプラザの事業への協力・連携しやすい後方支援を進めていきます。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ・「チームオレンジ」事業に参画し、令和4年6月から新たに若年性認知症当事者の方が集まる居場所「フレンドハーモニーの和」を立ち上げ、順調に活動の幅を拡げてきました。令和5年度は6年度からご家族の方が自主的に運営できるようにその準備を進めてきましたが令和6年度より家族会が発足し家族同士の話し合いも始まります。
・小・中・高生・地域の方・企業を対象に認知症サポーター養成講座等を実施し、認知症の方への理解が進むよう取り組みます。認知症キャラバンメイトになられている方には引き続き「ステップアップ講座」を開催し活動の幅が拡がるようにします。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | ・地域ケア会議を積極的に開催します。地域ケア会議は住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らせる地域包括ケアシステムの体制づくりへの取組の一つで、高齢者個人に対する支援の会議とそれを支える地域づくりを同時に進めていく方法です。今年度は地域福祉保健計画に沿った形で地域の課題解決に取組みます。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ・多世代食堂を開催します。超少子高齢化が進む中、多世代が集まる食堂を開催することで新たな交流の場が生まれ、泉区が推奨する地産地消取組に協力できる農家や料理人ともネットワークを拡げ、住民が主体となって楽しく活躍出来る居場所づくりに取組みます。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | ・地域の皆さん、区役所と一緒に防災に取組みます。具体的には、昨年12月から出席しているいずみ野中学校での防災運営委員会に今年も継続して出席し、お互いの立場の理解や発災時の連携の取り方など話し合っています。また、ケアプラザ内の職員に発災時の避難訓練を実施し福祉避難所についての理解が深まるようにしていきます。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和6年度いずみ野地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> お客様の相談内容から判断し、公正中立の立場でホームページから情報提供し、お客様に選んでいただきます。 法人規定の様式、居宅介護支援の新規依頼表を使いお客様が選定した理由を明確にしておきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報関連書類は鍵のかかる倉庫・キャビネに保管します。 個人情報の郵送やFAX送信時は、法人既定の様式を使ってダブルチェックを行います。 個人情報保護と事故防止の研修を行い、職員が常に自覚を持つて業務ができるようにします。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	1人ひとりに合わせた個別性のあるプランを作成し、自立した生活を継続していけるように支援していきます。 介護保険のみならず、地域のインフォーマルサービスの情報提供をし、プランに入れていきます。	ご本人の意向を尊重し、出来る限り住み慣れた地域で尊厳のある自立した生活が送れるように支援します。 介護保険のみならず、地域のインフォーマルサービスの情報提供をし、プランに入れていきます。
利用料金	【サービスに係る費用】	【サービスに係る費用】
		要介護1又は2 12,076円 要介護3、4、又5 15,690円
	【その他料金】 無し	【その他料金】 無し
職員体制	包括3職種 (主任ケアマネジャー、社会福祉士、看護師) 予防プランナー1名 合計 4名	主任介護支援専門員2名 (常勤専従1名・常勤兼務1名) 合計 2名
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標			
実施体制	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】	【その他料金】
職員体制			
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和6年度「いずみ野地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,789,355		20,789,355		20,789,355	横浜市より
自主事業収入 (指定管理料充当の自主事業)			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	△ 59,500		△ 59,500		△ 59,500	
収入合計	20,729,855	0	20,729,855	0	20,729,855	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,722,355	0	12,722,355	0	12,722,355	
本俸	8,384,388		8,384,388		8,384,388	
社会保険料	809,756		809,756		809,756	
手当計	784,920		784,920		784,920	
健康診断費	50,000		50,000		50,000	
勤労者福祉共済掛金	7,128		7,128		7,128	
退職給付引当金繰入額	336,487		336,487		336,487	
その他	2,349,676		2,349,676		2,349,676	賞与等
事務費	1,085,000	0	1,085,000	0	1,085,000	
旅費	25,000		25,000		25,000	
消耗品費	132,000		132,000		132,000	
会議開費	20,000		20,000		20,000	
印刷製本費	93,000		93,000		93,000	
通信費	299,834		299,834		299,834	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料 (横浜市への支出)	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	15,000		15,000		15,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	17,602		17,602		17,602	
職員等研修費	3,600		3,600		3,600	
振込手数料	24,000		24,000		24,000	
リース料	231,189		231,189		231,189	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
その他	223,775		223,775		223,775	
事業費	1,930,000	0	1,930,000	0	1,930,000	
運営協議会経費	0		0		0	
自主事業費 (指定管理料充当の自主事業)	1,930,000		1,930,000		1,930,000	
その他	0		0		0	
太陽光パネル保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光パネル保守点検	0		0		0	
太陽光パネル修繕 (追加)	0	0	0	0	0	
太陽光パネル修繕 (追加)	0		0		0	
SNSによる広報業務等モデル実施 (追加)	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施 (追加)	0		0		0	
管理費	4,578,000	0	4,578,000	0	4,578,000	
光熱水費	1,583,160		1,583,160		1,583,160	
清掃費	606,088		606,088		606,088	
機械整備費	134,448		134,448		134,448	
設備保全費	814,046	0	814,046	0	814,046	
空調衛生設備保守	286,770		286,770		286,770	
消防設備保守	472,473		472,473		472,473	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	36,498		36,498		36,498	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	18,305		18,305		18,305	
共益費	0		0		0	
その他	1,440,258		1,440,258		1,440,258	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算:指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	20,789,355	0	20,789,355	0	20,789,355	
差引	△ 59,500	0	△ 59,500	0	△ 59,500	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	1,930,000	0	1,930,000	0	1,930,000
自主事業 収支	△ 1,930,000	0	△ 1,930,000	0	△ 1,930,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度「いずみ野地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	27,760,859		27,760,859		27,760,859	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000		300,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,937,404		5,937,404		5,937,404	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			△ 2,033,500		△ 2,033,500	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
その他			0		0	
その他	△ 2,033,500		△ 2,033,500		△ 2,033,500	
収入合計	32,118,763	0	32,118,763	0	32,118,763	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	29,618,263	0	29,618,263	0	29,618,263	
本俸	15,667,218		15,667,218		15,667,218	
社会保険料	3,447,830		3,447,830		3,447,830	
手当計	3,231,504		3,231,504		3,231,504	
健康診断費	43,800		43,800		43,800	
勤労者福祉共済掛金	27,400		27,400		27,400	
退職給付引当金繰入額	653,550		653,550		653,550	
その他	6,546,961		6,546,961		6,546,961	
事務費	634,000	0	634,000	0	634,000	
旅費	71,000		71,000		71,000	
消耗品費	114,000		114,000		114,000	
会議費	5,000		5,000		5,000	
印刷製本費	91,000		91,000		91,000	
通信費	200,000		200,000		200,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	39,000		39,000		39,000	
職員等研修費	6,000		6,000		6,000	
振込手数料	48,000		48,000		48,000	
リース料	60,000		60,000		60,000	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
その他			0		0	
事業費	1,928,000	0	1,928,000	0	1,928,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	490,000		490,000		490,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000		300,000		300,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	354,000		354,000		354,000	
その他			0		0	
管理費	1,216,000	0	1,216,000	0	1,216,000	
光熱水費	420,840		420,840		420,840	
清掃費	232,870		232,870		232,870	
機械整備費	38,990		38,990		38,990	
設備保全費	106,343	0	106,343	0	106,343	
空調衛生設備保守	76,230		76,230		76,230	
消防設備保守	17,353		17,353		17,353	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	12,760		12,760		12,760	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
その他	416,957		416,957		416,957	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	33,522,263	0	33,522,263	0	33,522,263	
差引	△ 1,403,500	0	△ 1,403,500	0	△ 1,403,500	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	1,298,000	0	1,298,000	0	1,298,000	
自主事業 収支	△ 1,298,000	0	△ 1,298,000	0	△ 1,298,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和6年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:いずみ野地域ケアプラザ

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	3,239		3,239	6,064		6,064	6,449		6,449			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	318	0	318	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
	認知調査(市内)			0			0	70		70			0			0
	原案作成委託料(内部)			0			0	197		197			0			0
	原案作成委託料(外部)			0			0	51		51			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	3,239	0	3,239	6,064	0	6,064	6,767	0	6,767	0	0	0	0	0	0
	支出	人件費			0	1,860		1,860	8,287		8,287			0		
事務費				0	528		528	2,540		2,540			0			0
事業費				0	20		20	78		78			0			0
管理費				0	0		0	0		0			0			0
その他				1,584	3,340	0	3,340	1,200	0	1,200	0	0	0	0	0	0
利用者負担軽減額				0			0			0			0			0
消費税				0			0	1,200		1,200			0			0
介護予防プラン委託料		1,584		1,584	3,340		3,340			0			0			0
				0			0			0			0			0
その他				0			0			0			0			0
支出合計(B)	1,584	0	1,584	5,748	0	5,748	12,105	0	12,105	0	0	0	0	0	0	
収支 (A) - (B)	1,655	0	1,655	316	0	316	-5,338	0	-5,338	0	0	0	0	0	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	ベビーヨガ&ママヨガ	平成29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子のふれあいの場を提供する。地域と親子が出会う居場所となれるようにする。	3:養育者及び乳幼児		毎月第4木曜日実施。令和4年度は0歳児対象。親子の対話を大切にしながら、月齢の状況に合わせたヨガを行う。	5	
2	ベビーマッサージ	令和元年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子のふれあいの場。母親、父親のレスパイト	3:養育者及び乳幼児		毎月第1金曜日に開催。4回を1クールとして、0歳児の親子の居場所の確保を目的とする。	5	
3	1歳児のためのバランス体操	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子のふれあいの場を提供する。地域と親子が出会う居場所となれるようにする。	3:養育者及び乳幼児		毎月第4木曜日実施。令和5年度新設。1歳児対象。動きの活発になる1歳児と親の心と体の健康を大切にしながら、月齢の状況に合わせた体操を行う。	5	
4	ストレッチ教室①②	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザで初めての講座に参加をする方 ケアプラザの他の事業へ繋げるための入り口の講座	1:高齢者		体に負担の少ないストレッチを中心に運動を行う。 講師は既にケアプラザで実績のある外部講師が担当。	5	
5	中国健康体操	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	40～50歳代を対象とし、健康増進及びケアプラザの周知	5:地域		夜間の事業から、夕方の事業に令和6年度から移行。ケアプラザの機能を知ってもらい、健康に努めて頂く事を目的としている。	1	
6	ボランティアステージ	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザの貸室登録団体の活動の場の確保。 福祉保健活動の位置づけで、たくさんの人に団体を知ってもらい、活躍の場を広げる	5:地域		たくさんの活動団体が活動場を感染症禍で失ってしまったので、改めて団体の活動を、ケアプラザで地域に披露し活動を支援する。	1	

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
7	歴史講座	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	男性が参加しやすい、受け入れやすい講座として、新設。	5:地域		1 令和3年より、おさんぽ塾にて人気の講座。 令和5年度より、単発の事業として特化。男性が参加しやすい事業として、年2回実施予定。		
8	スマホ・パソコン講座	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ICT活用を地域の人が、身近に受け入れられるようにサポートしていく狙いがあり。主としては高齢者を対象としていく。	1:高齢者		5 前年度まで、専門学生を主体にマンツーマン対応で行っていたが、その事業が終了し、新たに地域のボランティア団体に協力を経て、始まる事業。ICTの活用を広める事を目的とする。		
9	おげんき塾	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防等、様々な健康面に関する周知を目的とした、自主事業	1:高齢者		5 年に数回講座を行い、その状況に合わせた講座対象者へ啓発活動を行う。		
10	自分の体と向き合う講座 (夏編)	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	健康づくりと介護予防の推進	5:地域		1 全4回実施。介護予防、ロコモ予防、口腔ケア、栄養について講話と体験を通して、自分の体と生活の仕方を見直してもらう機会にしよう。		
11	自分の体と向き合う講座 (冬編)	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	健康づくりと介護予防の推進	5:地域		1 全4回冬実施予定。介護予防、ロコモ予防のためハマトレの紹介、口腔ケア、栄養について講話と体験を通して、自分の体と生活の仕方を見直してもらう機会にしよう。		
12	ロコモ予防 腰痛・ひざ痛講座	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	健康づくりと介護予防の推進	5:地域		1 実施時期未定。 下肢筋力が弱った方に筋力をつける事で改善が可能であるというメッセージと生活の中で取り組みが出来るように働き掛ける。		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
13	施設の選び方講座	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者や高齢世帯を抱える子供世帯への支援講座	5:地域		1 開催時期は明確に決めていない。興味関心の高いテーマとして、社会福祉士を中心に支援講座を実施する、		
14	エンディングノート普及啓発講座 もしも手帳普及講座	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	権利擁護…意思決定支援講座	1:高齢者		5 泉区エンディングの説明 相続や介護における今から知っておくこと 準備しておくことを理解する		
15	成年後見・遺言講座	令和2年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	権利擁護…意思決定支援講座	5:地域		1 開催時期未定。終活としての成年後見、遺言講座は人気が高いテーマであり、地域の関係機関などにも協力を得て講師を依頼する。		
16	難聴の方への講座		2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護している方、介護経験者、介護に興味のある方などが集い、交流会を行う。介護者同士の交流や情報交換、また専門職からの情報提供を通じて、介護者の支援を行う。	5:地域		1 開催時期は明確に決めていない。興味関心の高いテーマとして、社会福祉士を中心に支援講座を実施する、		
17	チームオレンジ事業 認知症サポーター養成講座	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症の人と家族への応援者である認知症サポーターを養成し、認知症になっても住み続けられる地域づくりに取り組む。	5:地域	1,4	講座を開催する。地域住民が受講しやすい時間と曜日を設定する。 対象者は一般の方から、小学生等までの幅広い層を本年度は考えている。		
18	チームオレンジ事業 認知症サポーター フォローアップ講座	令和4年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	泉区認知症サポーター登録推進事業に参画した企業向けに、実践編として更に認知症の理解を深める機会とする。また、認知症の理解者として地域貢献へのきっかけとする。	5:地域		企業の方へ認知症サポーターとしてステップアップを図れるよう支援する。		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
19	おはなしほけっと (元気づくりステーション)	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	元気づくりステーションとして、成り立っている「おはなしほけっと」の活動だが、団体が自律的な活動を行う中での、後方支援を整理していく。	5:地域		月2回定例会あり。 泉区の保健師とCPの保健師が団体と協力し、完全な自立化を目指す。		
20	フレンドハーモニーの和 (若年性認知症当事者会)	令和4年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	65歳未満で発症した若年性認知症の当事者の会を開催します。若年性認知症の方が話し合える交流の場です。また別室で、ご家族は介護経験者のアドバイスを受けることができます。	5:地域	1, 7	令和4年6月より毎月第3日曜日に開催。関係機関と連携をはかりながら認知症の人と家族が安心して参加できる居場所となるよう、取組みます。令和5年一年かけて自主活動化へ動き出す予定。		
21	チームオレンジ事業 若年性認知症当事者の会 企画会	令和4年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	若年性認知症当事者会への準備のため、関わるスタッフ・ボランティア等への打合せのため。また、共通認識を高める場。	5:地域	1, 7	R4年度より始まった事業のため、何かも手探りの状況の中で、当事者の方が中心となれるような会を企画するための会。		
22	ふらっとカフェ	令和5年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	外出先がなく、引きこもりがちなる方に向けて、地域の見守りの目を、お互いに作っていくために、そして気軽に声掛けができるようにしていくための居場所事業。	1:高齢者	5, 7	毎月第1木曜日の午前中に開催。 4月～6月まではプレオープン。7月より本格的な開催を目指す。基本的には、自由に来て自由に帰れるオープンな居場所事業。		
23	お出かけサポーター	令和2年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	お一人での外出が難しい高齢者が閉じこもりがちになることでの身体機能の低下を予防し、地域住民同士の顔の見える関係づくりを提供することで地域での見守り体制を構築することを目的としている。	5:地域	1	毎月、定例会を開催し、ケアプラザで開催するサロンや通院の車椅子での外出支援を実施。定例会では、包括支援センターやケアマネジャーへの個別相談事例について話し合い、ボランティア活動へ結んでいる。 ・交流会「お出かけカフェ」の運営・ボランティア調整等 ・ボランティア育成に必要な研修や他の活動団体の見学会を予定している。		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
24	多世代食堂	令和6年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	食を通じて、多世代が交流できる、緩やかな見守り体制を地域で作れる、食堂を展開していく。	5:地域	1,2,3,4	構想として、1年かけて準備期間、調理して本番を迎えるという仕組みを、ボランティアや民生委員等を巻き込みながら行っていく。 (年度いっぱいを使って形をつくる)		
25	いずみ野夏講座 (体操・ポッチャ・絵画講座)	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	夏休みの子ども居場所づくり 親子の交流の場	4:子ども・青少年	3,5	夏休み期間中の3回を実施予定 身体を動かす講座を中心に夏休みの支えになるように ケアプラザとして支援する		
26	小学生の書初め	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	冬休みの子どもの居場所作り 地域の方との交流	4:子ども・青少年	3,5	令和2年度より創めた、冬休み宿題救済企画。子どもたちと地域の方との触れ合いも含みながらの企画となっている。		
27	和泉北部地区 子育てネットワーク 公園遊び・お芋ほり企画	令和3年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①和泉北部子育て支援ネットワークの周知 ②地域の親子の現状把握	3:養育者及び乳幼児	4,5	和泉北部地区らしい子育て支援のサポートを考える子育て支援ネットワークの活動に参画し、地域の子育てを豊かにする活動をしていく。		
28	和泉北部連合主催 いずみ野文化祭	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	和泉北部連合主催のいずみ野文化祭を全面的に支援する。企画等から参画。地域の活性化の支援をする。	5:地域	1, 2, 3, 4, 6, 7	和泉北部連合主催の行事がこの数年間、行われていないため、地域の活動団体がうまく活動できないことから計画された文化祭。 10/21(土)を予定している。		
29	いずみ野カフェ 「デ・アイ」	平成29年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症カフェの開催について後方支援として関わり、認知症の当事者や家族の支援を行う。	1:高齢者	5	毎月第4日曜日実施。貸室登録団体『いずみ野カフェ「デ・アイ」』と共催。 認知症カフェで介護者や当事者の居場所や情報を発信する場を提供する。		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
30	メンズ体操教室	平成29年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	男性高齢者の方の健康づくり・認知症予防と居場所づくり	1:高齢者	5	令和6年度に完全に自主運営化。ケアプラザは後方支援の立場で男性だけの体操教室を地域に周知する。		
31	おでかけカフェ	令和2年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	おひとりでは外出が難しい方や、地域の見守りの目をお互いに作っていくために、そして気軽に声掛けができるようにしていくための居場所事業。	5:地域	1,4	毎月、サロンとして行う。運営の主体は「お出かけサポーター」。令和6年度からは、共催事業としてサポートしながら運営していく。		
32	いずみ野手芸クラブ	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	コロナ禍の自粛により、自宅に閉じこもりがちな高齢者の居場所の必要性から、参加者が興味のある手芸クラブを昨年度開始し、2年目を迎え、今後、高齢者の居場所として発展させる方向で後方支援します。	5:地域	1	月2回の16:00~17:00の比較的、貸室が空いている時間に設定している。現在は数名の参加者の都合日で実施。		
33	Youと愉快的仲間たち (元:いずみ野手話クラブ)	令和6年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	コロナ禍の自粛により、自宅に閉じこもりがちな高齢者の居場所の必要性から、参加者が興味のある手話クラブを昨年度開始し、2年目を迎え、今後、高齢者の居場所として発展させる方向で後方支援します。	5:地域	1.7	月1回の午前の時間に、有志メンバーにて実施中。集まった人たちが今後地域でも活躍できることを目指している。令和6年度もふらっとカフェの運営も手がける。		
34	いずみ野子育てサロン ぽぼんた	平成28年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	乳幼児とその保護者を対象とした子育てサロン	3:養育者及び乳幼児	4,5	毎月第4水曜日に開催。「いずみ野子育てサロンぽぼんた」と共催していく。子育て支援ネットワーク連絡会とも連携し、地域の子育て世代のニーズや課題を把握していく。		
35	すこやか会	平成28年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域の高齢者サロン 地域の方が笑顔で楽しく通える場をコンセプトに活動	1:高齢者	5	毎月第3木曜日に開催。「サロンいずみ野すこやか会」と共催していく。地域の高齢者の見守りを中心に、包括の見守りの方も来れる場として、継続中。		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
36	かけはし	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	団体が運営する主に不登校支援のための居場所事業。地域の子供たちの未来サポートとしても、事業を支えていく。	4:子ども・青少年	3,5	一般社団法人「かけはし」との共催事業。地域の見守り事業として、支えていく。また、子どもたちの事を大切にしてくれる地域の人たちと繋げていく。		
37	ハーモニーいずみ野	平成28年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域住民の居場所づくり。介護予防・健康増進。ボランティアの活動の場として提供	5:地域		毎月第3月曜日実施。令和3年度より歌声サロンとして自主活動団体となった。ケアプラザとしては、共催事業として行う。		
38	この指止まれ	令和3年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ハンディがある方も、居心地がよいサロンを展開する。地域の見守り。障がいがある方でも安心してこれる場作りの再構築	5:地域	1,2	令和3年度よりいずみ野地域ケアプラザに拠点を移して、再開。「この指止まれ」と共催をしていく。包括の見守りの方なども来れるよう関わっていく。毎月第2水曜日と30日に開催。		
39	単一自治会への支援 (単一自治会への出張講座を含む)	平成30年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザの周知 介護予防普及啓発 エリアの状況把握	5:地域		ケアプラザの役割・機能、介護保険、認知症予防体操、消費者被害防止等に関する講座を行い、ケアプラザの周知をしていく。令和5年度は弥生台地区、ひなた山地区を中心に、支援を検討中		
40	シニアクラブへの支援 (シニアクラブへの出張講座含む)	平成29年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	ケアプラザの周知 介護予防普及啓発 友愛活動として、閉じこもり等情報が届きにくい方への情報提供してもらう	5:地域		シニアクラブの会員対象に、出張講座を行う。年間の取組目標としては3回～4回程度。		
41	地域サロン支援	令和元年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域のサロンを訪問し、地域ニーズを把握し、身近な場所でのサロンに参加することで、地域住民同士のつながりや必要とする支援を提供する。また、地域ケアプラザをもっと身近に感じていただけるように、参加者の皆様へ周知し、いざという時に相談していただく体制づくりをする。	5:地域		地域で開催されているサロン活動に訪問時に情報提供や、それぞれの地域で必要としている後方支援を行う。		

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
42	お出かけサポーター研修会	令和元年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	お出かけサポーターの研修会 ・車いす操作実践研修 ・ボランティアの心得 ・傾聴 ・その他必要な研修会の開催	1:高齢者		5 年2回実施。8月と2月 お出かけサポーターは、様々なお客様に対応があるため、学びのための研修会		